

令和 5 年 6 月 27 日現在

機関番号：32614

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18H00615

研究課題名(和文) 日本宗教教育の国際的プラットフォーム構築のための総合的研究

研究課題名(英文) Comprehensive Research for the International Platform Development of Japanese Religious Education

研究代表者

平藤 喜久子(Hirafuji, Kikuko)

國學院大學・神道文化学部・教授

研究者番号：50384003

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,850,000円

研究成果の概要(和文)：日本の宗教としての神道、仏教、キリスト教の教え方、教材について、日本と海外の研究者で調査、研究を行った。コロナ禍のなかで、予定していた研究交流、調査が出来ない部分もあったが、その代わりに海外の大学とオンラインで協力をし、動画を作成するなど、マルチメディアを使用した宗教文化教育の開発を行うことができた。また、その過程で教材作成、研究のための撮影技術についても写真家の方々との情報交換などを通じて考察することができ、想定していなかった研究成果を得ることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、日本の宗教文化を海外で教えている研究者と協力をして、国内外の大学で使用される教材の研究を行った。その作成の過程で、日本と海外の研究者、大学院生、学生の交流も生まれ、作成プロセスそのものが学びとなる機会も得られた。その成果は、広く日本文化の発信になるきわめて社会的意義の大きいものであった。また、教材研究の過程で、宗教的テーマを「撮る」ことに自覚的になる必要性を感じ、写真家と研究者の交流を研究会という形でスタートさせた。研究者の学術上のスキルアップにもつながる成果を得た。

研究成果の概要(英文)：We conducted research and investigation on the teachings and materials of Shinto, Buddhism, and Christianity as religions in Japan, involving both Japanese and foreign scholars. Although there were limitations to the planned research exchanges and investigations due to the COVID-19 pandemic, we were able to collaborate with overseas universities online and develop religious cultur education utilizing multimedia, such as creating videos. Furthermore, through information exchanges with photographers, we were able to explore techniques for creating teaching materials and conducting research through photography, leading to unexpected research outcomes.

研究分野：宗教学、神話学

キーワード：宗教文化教育 海外の大学 教材研究 マルチメディア教材 日本の宗教

1. 研究開始当初の背景

グローバル化、多文化共生社会という現状を踏まえた宗教教育の必要性が議論されるようになったことを背景に、宗教教育の方法をめぐる議論が活発化することとなるが、それらは、イスラームなど、これまで日本では馴染みが薄かった宗教文化の学びに焦点が当てられることが多かった。その一方で海外において日本文化、宗教に関心を持つ人が増えているという現状は、とくに宗教の学びという観点からは顧みられる機会はあまりなかった。また、海外の高等教育における日本宗教の学びについての調査、研究はいまだなされていない。そこでいま、「海外では日本宗教について何が教えられているのか」、限られた授業時間を考えたとき、「日本宗教について何を学ぶ必要があるのか」、インターネット上に情報が氾濫するなかで、「最新の研究成果として踏まえておくべきは何なのか」などを指す。こうした課題について、国内外の日本宗教研究者が相互に議論を深め、国際的な研究、教育を活発化させるプラットフォームの構築が求められていると考えた。

2. 研究の目的

神道、仏教、キリスト教、新宗教に民俗宗教など、きわめて多様な内容を含む「日本宗教」について、限られた授業時間で、いったい何を、どのようにして伝えるべきなのだろうか。学生の関心や社会的な必要性を考慮して、研究領域を越えたテーマを取り上げることも珍しくない。その際、自分の知識や教材の妥当性など不安を感じることも多い。それは海外だけでなく日本の大学教員も少なからず経験していることだろう。

本研究は、海外の大学で、日本宗教がどう教えられているのかを把握し、共有しうる日本宗教の教材、授業のあり方を国内外の研究者が最新の研究成果を検討しながら議論をし、研究を行うことを目的とし、本研究によって構築された国際的研究のプラットフォームが日本宗教の研究のグローバルな展開に資することを旨とした。

3. 研究の方法

研究分担者、連携研究者と相談し、それぞれの研究課題、手順を議論し、その上で次の方法を取ることにしていた。

(1) 海外の大学で日本宗教教育の現状を調査し、課題や教材のニーズを探る。

(2) 日本宗教に関するマルチメディア教育教材の共同開発を行い、共有化を目指す。

(3) 教材検討、開発と利用を通して国内外の日本宗教研究者のネットワークを構築し、相互の宗教研究、教育に資する。

しかしながら 2020 年からの新型コロナウイルスの感染拡大を受け、海外での渡航調査や研究者間のネットワーク構築を目的としたワークショップの開催などができない時期が続いた。そのなかで、2)のマルチメディア教育教材を日本側で充実させる試みに注力することとなった。

4. 研究成果

研究方法に挙げた3つの項目に即して成果を述べる。

(1) 海外の大学での日本宗教教育の現状およびニーズ調査

2018 年度は、研究会を実施して現状とニーズの調査を行った。発表者とテーマは次の通りである。

ヤニス・ガイタニディス(千葉大学)「クリティカル日本学としての「日本宗教」を教える」

ファビオ・ランベリ(カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校)「海外における神道史」

矢崎早枝子(グラスゴー大学)「イギリスの大学における日本宗教の授業」

国際シンポジウムでは、アラン・カミングス(ロンドン大学 SOAS 校)、ワリード・ファルーク・イブラヒム(カイロ大学日本研究センター、エジプト)を招き、それぞれの大学における日本研究の状況を報告してもらうとともに、日本宗教についての学びがどのように行われているかを紹介してもらい、ディスカッションをした。

研究代表者の平藤は、研究会、シンポジウムをコーディネートするとともに、ドイツ、ボン大学を訪問し、日本学のラインハルト・ツェルナー教授に聞き取り調査を行い、またアラン・カミングス氏とワークショップを開き、日本、ドイツ、イギリスにおける日本研究の現状についてディスカッションをした。またエジンバラ大学、グラスゴー大学の日本仏教の担当者からの聞き取りをした。また、ウェブ上のサーベイ・フォームを使用して、日本宗教に関する教材のニーズ調査を行った。

2019 年度の研究会では、下記の発表が行われた。

アンドレア・カスティリオーニ(名古屋市立大学)

「米国と日本の大学から見た日本宗教教育」

李賢京(東海大学)

「韓国の大学において日本の宗教文化はどのように教えられているのか 教えられる側と教え

る側の両方の経験から」

(2) 日本宗教に関するマルチメディア教育教材の共同開発
カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校のファビオ・ランベッリ教授と彼の指導を受ける大学院生たちの協力の下、YouTube 動画の作成を行った。

Teaching Materials for Japanese Religion

神社に行こう1 神社の中にあるもの ときわ台 天祖神社(東京) Visiting a Jinja(Shinto Shrine)1, Tokiwadai Tenso Jinja, Tokyo

<https://www.youtube.com/watch?v=wWiTGCBYto8>

神社に行こう2 神社に関わる人々 小野照崎神社(東京) Visiting a Jinja(Shinto Shrine)2, Onoterusaki Jinja, Tokyo

<https://www.youtube.com/watch?v=LV2II-x1s-A>

神職を志す学生の日常

<https://www.youtube.com/watch?v=ZOKW-iNB4kI&t=840s>

3 つめの動画は、國學院大学の学生とカリフォルニア大学サンタ・バーバラ校の大学院生たちの対談も含まれており、この動画の作成を通じた学びが得られるものであった。

(3) 教材検討、開発と利用を通じた国内外の日本宗教研究者のネットワークを構築

研究協力者、連携研究者、それぞれが研究課題に関連して写真、動画の撮影に取り組み、教材開発を行った。そのなかで、あらためてマルチメディア教材を作成していく上で必要な撮影技術について、カメラの特性やメディアの歴史なども視野に入れながら、実践的に学んでいくことが重要であると認識をするにいたり、研究会を実施した。

「研究者のための撮影術」

2020年12月28日 第1回 講師 港千尋・写真家・多摩美術大学教授

2021年1月24日 第2回 講師 伊奈英次・写真家・東京総合写真専門学校 校長

甲斐啓二郎・写真家

港千尋・写真家・多摩美術大学教授

2022年12月10日 第3回 講師 露口啓二・写真家

川瀬慈・映像人類学者・国立民族学博物館准教授

港千尋・写真家・多摩美術大学教授

この研究会において、写真、アート、映像と宗教文化の関わりの重要性が認識されるとともに、カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校の大学院生たちのなかにも、アートと日本の宗教をテーマにしたいという学生がおり、交流をさらに深めたいという要望がでてきた。そこで、ファビオ・ランベッリ教授と相談の上、2023年には、ようやく本研究課題のまとめのワークショップとして、まさに「教材検討、開発と利用を通じた国内外の日本宗教研究者のネットワークを構築」として下記の企画を行った。

Japanese Religions Lectures

Kikuko Hirafuji, Kokugakuin University

The Representation of Shinto Gods: A Visual History

Chihiro Minato, Tama Art University

The Promordial in Contemporary Japanese Art

この研究会がきっかけとなり、宗教学者と写真家が宗教的なテーマと写真の関係を論じる本、港千尋、平藤喜久子編『聖なるものを撮る』(仮)が2023年8月に山川出版より刊行される予定となっている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 平藤喜久子	4. 巻 0
2. 論文標題 初期ジャバノロジストと日本書紀の翻訳	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 山下久夫、斎藤英喜編『日本書紀一三〇〇年史を問う』	6. 最初と最後の頁 339,362
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳野崇行、武井謙悟、横山龍顯	4. 巻 49
2. 論文標題 「二〇一八年度 仏教経済研究所 寺院調査レポート 地域社会における寺院の役割（3）：台湾台南市の寺院調査から」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『佛教経済研究』	6. 最初と最後の頁 165-184
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平藤喜久子	4. 巻 254・255
2. 論文標題 神話学と大嘗祭 神話儀礼論の系譜	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神道宗教	6. 最初と最後の頁 p.319, p.348
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩野祐介	4. 巻 12
2. 論文標題 日本と聖書、日本語と聖書の言葉	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 関西学院大学神学部ブックレット	6. 最初と最後の頁 37 - 51頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 櫻井義秀	4. 巻 37
2. 論文標題 人口減少時代における<限界化する>宗教法人	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 宗教法	6. 最初と最後の頁 95 - 114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihide Sakurai	4. 巻 6 - 3
2. 論文標題 Sexual Abuse in a Korean Evangelical Church in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Religion in Japan	6. 最初と最後の頁 208 - 240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳野崇行、武井謙悟、池野雄太	4. 巻 47
2. 論文標題 二〇一六年度 仏教経済研究所 寺院調査レポート 地域社会における仏教寺院の役割(1) 佛光寺における年間活動についての聞き取りを中心として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 佛教経済研究	6. 最初と最後の頁 241-258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計12件(うち招待講演 3件/うち国際学会 11件)

1. 発表者名 HOSHINO, Seiji
2. 発表標題 "The "Reformation" and "New Buddhism"
3. 学会等名 Historians' Workshop主催のRoundtable: "Historiography on (Early) Modern Religions" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kikuko Hirafuji
2. 発表標題 " The Depiction of Japanese Deities in Modern Japan"
3. 学会等名 East Asian Studies Program Virtual Coffee-Hour Lecture, Princeton University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kikuko Hirafuji
2. 発表標題 Young People's view of death and life in modern Japanと
3. 学会等名 International Society for the Sociology of Religion (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Yamanaka
2. 発表標題 The development of religious tourism in Japan
3. 学会等名 International Society for the Sociology of Religion (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshihide Sakurai
2. 発表標題 Convener and presenter of Thematic Session, ' Well-being and Well-dying in medicalized longevity society: How do our religious culture consider the dignity of life and death?
3. 学会等名 International Society for the Sociology of Religion (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平藤喜久子
2. 発表標題 神の姿にみる古代と現代
3. 学会等名 国際ワークショップ「近現代日本の宗教文化と「古代」」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 星野靖二
2. 発表標題 日本宗教史の叙述と「古代」 宗教学の展開との関連において
3. 学会等名 国際ワークショップ「近現代日本の宗教文化と「古代」」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平藤喜久子
2. 発表標題 植民地主義と日本神話
3. 学会等名 国際シンポジウム「マヤ文明」と「日本神話」 近代知が紡ぐ地の「記憶」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 徳野崇行
2. 発表標題 祖先崇拜と先祖供養 - 近代以降の先祖をめぐる学説について
3. 学会等名 日本宗教学会 第 77 回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirafuji Kikuko
2. 発表標題 The Relationship in Japan between the Media and Young People's Perceptions of Religion
3. 学会等名 XIX ISA World Congress of Sociology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平藤喜久子
2. 発表標題 神話と儀礼をめぐって 神話学的視点から
3. 学会等名 International Workshop, organized by Edwin O. Reischauer Institute of Japanese Studies at Harvard University (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirafuji Kikuko
2. 発表標題 In the case of Institute for Japanese Culture and Classics, Kokugakuin University
3. 学会等名 Roundtable Discussion: The Present and Future of Japanese and Area Studies, in MONUMENTA NIPPONICA 80th Anniversary Symposium, "Changing Perspectives on Area Studies" (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 櫻井義秀	4. 発行年 2020年
2. 出版社 興山舎	5. 総ページ数 309
3. 書名 『人生百年の生老病死 - これからの仏教 葬儀レス社会』	

1. 著者名 櫻井義秀編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 342
3. 書名 『中国・台湾・香港の現代宗教 - 政教関係と宗教政策』	

1. 著者名 平藤喜久子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東洋館出版社	5. 総ページ数 160
3. 書名 いきもので読む、日本の神話	

1. 著者名 平藤喜久子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 エクスナレッジ	5. 総ページ数 167
3. 書名 世界の神様解剖図鑑	

1. 著者名 黒崎浩行	4. 発行年 2019年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 280
3. 書名 神道文化の現代的役割 地域再生・メディア・災害復興	

1. 著者名 斎藤宗次郎著、田村真生子監修、児玉実英・岩野祐介編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 教文館	5. 総ページ数 785
3. 書名 復刻 聴講五年 晩年の内村鑑三に接して 没後50年記念	

1. 著者名 宗教文化教育推進センター（平藤、櫻井、岩野、木村、飯嶋、山中、星野）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 集広舎	5. 総ページ数 246
3. 書名 解きながら学ぶ日本と世界の宗教文化	

〔産業財産権〕

〔その他〕

神社に行こう1 神社の中にあるもの ときわ台 天祖神社（東京） https://www.youtube.com/watch?v=wWiTGcByto8&t=176s 神社に行こう2 神社に関わる人々 小野照崎神社（東京） https://www.youtube.com/watch?v=LV2l1-x1s-A&t=1157s 神職を志す学生の日常 https://www.youtube.com/watch?v=ZOKW-iNB4kl&t=840s

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岩野 祐介 (Iwano Yusuke) (20509921)	関西学院大学・神学部・教授 (34504)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大東 敬明 (Daito Takaaki) (20616916)	國學院大學・研究開発推進機構・准教授 (32614)	
研究分担者	櫻井 義秀 (Sakurai Yoshihide) (50196135)	北海道大学・文学研究院・教授 (10101)	
研究分担者	星野 靖二 (Hoshino Seiji) (50453551)	國學院大學・研究開発推進機構・教授 (32614)	
研究分担者	黒崎 浩行 (Kurosaki Hiroyuki) (70296789)	國學院大學・神道文化学部・教授 (32614)	
研究分担者	木村 敏明 (Kimura Toshiaki) (80322923)	東北大学・文学研究科・教授 (11301)	
研究分担者	徳野 崇行 (Tokuno Takayuki) (80756073)	駒澤大学・仏教学部・准教授 (32617)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	港 千尋 (Minato Chihiro)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 国際シンポジウム「日本文化としての宗教 海外の授業から 」	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 Japanese Religions Lectures	開催年 2023年～2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------